

豊橋市美術博物館改修整備事業

審査講評

令和3年11月30日

豊橋市美術博物館改修整備事業プロポーザル評価委員会

「豊橋市美術博物館改修整備事業プロポーザル評価委員会」（以下「評価委員会」という。）は、豊橋市美術博物館改修整備事業（以下「本事業」という。）に関して、審査基準書（令和3年7月5日公表）に基づき、提案内容等の審査を行いましたので、審査結果及び審査講評をここに報告します。

令和3年11月30日

豊橋市美術博物館改修整備事業プロポーザル評価委員会
委員長 松本 博

目 次

I. 審査体制及び評価委員会の開催経過	1
II. 審査結果	2
1. 資格審査	2
2. 提案審査	2
III. 審査講評	5
1. 各審査項目についての講評.....	5
2. 総評	7

I. 審査体制及び評価委員会の開催経過

本事業に係る受注候補者を特定するにあたり、提案内容を公平、かつ公正に審査するため、市は学識経験者等により構成される評価委員会を設置しました。評価委員及び評価委員会の開催経過は以下のとおりです。

評価委員

役職	名前	所属・役職
委員長	松本 博	豊橋技術科学大学大学院 名誉教授
副委員長	松島 史朗	豊橋技術科学大学 教授
委員	木本 文平	碧南市藤井達吉現代美術館長
委員	枝松 裕子	市民代表
委員	種井 直樹	豊橋市教育部長

評価委員会の開催経過

回	開催日	主な案件
第1回	令和3年6月29日	<ul style="list-style-type: none">・評価委員会設置要綱について・委員長の選任について・実施方針について・要求水準書について・審査基準書について
第2回	令和3年10月21日	<ul style="list-style-type: none">・審査の進め方について・基礎審査結果の報告・事業者プレゼンテーション及び質疑応答・最終審査

II. 審査結果

1. 資格審査

資格審査書類について、表1に示すグループから提出があり、審査の結果、参加資格を有していることを確認しました。

表1 資格審査申請者

応募番号 1	
代表企業	株式会社鴻池組名古屋支店
構成企業	神野建設株式会社 株式会社日総建中部事務所 株式会社アーチザン

2. 提案審査

(1) 価格審査

参加資格を有するグループから提案書類の提出があり、提案価格が上限価格以下であることを確認しました。

(2) 基礎審査

提出された提案書類が募集要項等の指定どおりにすべて揃っていること、また基礎審査の対象となった提案内容について、要求水準を満たしていることを確認しました。

(3) 加点審査

① 評価方法

評価委員会は、審査基準書に基づき、審査項目ごとに表2に示す基準により4段階で評価し、それに応じて計算される得点（加点）を付与しました。

表2 加点審査の評価基準

評価	評価内容	採点基準
A	特に優れている	配点×1.00
B	優れている	配点×0.75
C	やや優れている	配点×0.50
D	要求水準を満たしている程度	配点×0.25

② 提案に対する評価結果

評価結果は、表3に示すとおりです。

表3 評価結果

No.	加点评価項目	配点	応募番号 1
1. 事業実施に関する項目			
1.1	本事業実施における基本方針・事業計画の妥当性	5	3.00
1.2	応募事業者の体制及び実績	10	8.00
	地域経済への貢献・配慮（市内業者受注割合）	5	1.50
1.3	リスクへの適切な対応	5	3.75
		計 25 点	計 16.25 点
2. 業務に関する項目			
2.1	設計施工業務における文化財・美術品への配慮	5	3.75
2.2	環境負荷低減への配慮	10	8.00
2.3	維持管理・将来の改修への配慮	10	6.50
		計 25点	計 18.25 点
3. 設計・施工に関する項目			
3.1	屋根改修工事における機能及び性能	10	7.00
3.2	展示空間の設え及び性能（講義室・展示室）	25	17.50
3.3	収蔵庫の機能及び性能（収蔵庫）	10	4.50
3.4	共用部の機能及び性能	20	15.00
3.5	空調整備・自動制御装置の機能及び性能	25	15.00
		計 90 点	計 59.00 点
提案点総計（小数点以下第1位四捨五入）		計 140 点	計 94 点

(4) 価格審査

① 価格点の算定方法

価格点は、提案価格に対して、次の算式により算出しました。

表4 価格点の算定方法

金額	評価
上限価格の7割未満	価格点=70点
上限価格の7割以上～上限価格	価格点=70点×{(上限価格-提案価格)÷(上限価格-上限価格の7割)}
上限価格を上回るもの	失格

② 算定結果

価格点の算定結果は表5に示すとおりです。

表5 価格点の算定結果

	応募番号 1
提案金額	1,357,000 千円 (税抜)
価格点	0 点

(5) 受注候補者の特定

① 受注候補者の特定方法

評価委員会において、提案点と価格点を合計して応募事業者の得点を算出しました。

② 特定結果

表6に示すとおり、提案点と価格点の合計は70点以上となり有効でした。そのため、応募番号1のグループを受注候補者として特定しました。

表6 総合評価結果

評価項目	配点	応募番号 1
提案点	140 点	94 点
価格点	70 点	0 点
合計 (総合評価点)	210 点	94 点

Ⅲ. 審査講評

1. 各審査項目についての講評

No.	評価項目	応募番号 1
事業実施に関する項目		
1.1	本事業実施における基本方針・事業計画の妥当性	<ul style="list-style-type: none"> ・BIMモデルなどの各種ツールを活用する設計施工計画が評価された。 ・サーモグラフィカメラを使用した現地調査等の有効な手段が計画されている点が評価された。 ・事業のスケジュールについては妥当な計画であると評価された。
1.2	応募事業者の体制および実績 ※地域経済への貢献・配慮 (市内業者受注割合)	<ul style="list-style-type: none"> ・美術館、博物館の設計施工実績がある全国規模の企業と市内企業が組み合わせられ、さらに展示専門業者が入る体制が評価された。 ・共同企業体の構成企業となる市内企業の受注割合は要求水準程度であるが、主要な協力企業を市内業者とするなど、地域経済に配慮されている点が評価された。
1.3	リスクへの適切な対応	<ul style="list-style-type: none"> ・予測されるリスクが詳細に想定され、リスク分担が検討されている点が評価された。 ・共同企業体を構成する施工企業2社による、相互チェックとフォローアップ体制が構築されている点が評価された。
業務に関する項目		
2.1	設計施工業務における文化財・美術品への配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・設計および施工期間中、それぞれについて文化財、美術品への配慮がなされている点が評価された。 ・LED照明については、紫外線・発熱の問題が少ないという利点がある反面、輝度が高いなどの弱点もあるが、その点についても考慮されていた点が評価された。
2.2	環境負荷低減への配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・外皮面積低減による環境性能向上を提案されている点が評価された。 ・外部に面するガラスに貼るフィルムなどの性能については十分な確認が必要である。 ・リサイクル材やリサイクル性の高いエコマテリアルの積極的採用など環境負荷低減への配慮が評価された。
2.3	維持管理・将来改修等への配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・非接触を考慮した設備機器などの感染症対策、新たな生活様式に対応する計画が評価された。
設計・施工に関する項目		
3.1	屋根改修工事における機能及び性能	<ul style="list-style-type: none"> ・既存建物への構造負担や将来の更新性を考慮し、金属屋根に対応する塗膜防水改修工法を提案した点が評価された。 ・計画的な建物保全の観点から、今回要求水準

		<p>で示された屋根の改修範囲拡大を提案した点が評価された。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・塗膜防水採用において、防水上の弱点となる取り合い部分の雨仕舞については十分な検討が必要である。
3.2	展示空間の設え及び性能 (講義室・展示室)	<ul style="list-style-type: none"> ・タブレット端末による細やかな照明演出が可能となるシステムの採用が評価された。 ・色温度、照度の調整、グレア対策など、演出性の高い照明計画が評価された。 ・既存ケースへの調湿された室内空気を取り込みや新設ケースの調湿促進についての計画が評価された。
3.3	収蔵庫の機能及び性能	<ul style="list-style-type: none"> ・要求水準を十分に満たす良質な収蔵庫計画であると評価された。 ・設計段階において空調の吹出口・吸込口の配置に十分配慮し、気流性状の検証を行うことが必要である。
3.4	共用部の機能及び性能	<ul style="list-style-type: none"> ・建物中央に存在する外部空間であった池(1)の室内化により、施設の新たな顔となるエントランス空間を創出する提案が評価された。 ・玄関ポーチの防滑性向上など、利用者の安全性、ユニバーサルデザインに関する現況の課題を改善する提案が評価された。
3.5	空調設備・自動制御装置の機能及び性能	<ul style="list-style-type: none"> ・空調システムの採用について設計段階で複数の空調熱源方式を比較検討し、ランニングコストとイニシャルコストを合わせたバランスのとれた方式を選定するとした方針が評価された。

2. 総評

豊橋市美術博物館は、開館から40年以上が経過し、建物・設備の老朽化がすすんでいます。文化財の保存・公開にあたって、資料の劣化を防止し、適切に収蔵・展示するための環境を維持することが困難になってきています。本事業は、公開承認施設として求められる温湿度や空気環境を整えるとともに、施設の長寿命化を図り、使いやすく快適で魅力のある施設サービスを提供し続けるために行う改修整備工事です。

本評価委員会もこれらのことを念頭に、今年6月から審議を進めてまいりました。また、提案書類の審査に当たりましては、募集要項と同時に公表した審査基準書に基づき、公正かつ客観的評価を確保すべく、各審査項目について慎重に審議を行ない、最終的な結果を得たところです。

さて、今回の提案は豊富な経験に基づき具体的かつ工夫を凝らした優れた点が多く認められました。評価委員会としてあらためて感謝と敬意の念を表すものであります。審査の結果、株式会社鴻池組を代表企業とする提案グループを受注候補者として特定しました。

受注候補者は、美術館・博物館の設計・施工に関する豊富な実績を有する構成企業、高い専門性を有する協力企業により結成されており、本施設の課題解決につながる有益な提案が随所に見受けられ、また地元企業への配慮や地域経済への貢献についても期待できる内容でした。

その一方で、提案やヒアリングの内容を通じてさらに検証を深めるべき事項もありましたので、事業実施にあたっては、次の項目に留意して、継続的な努力を期待するものです。

- ・空調熱源方式の選定については、本施設に求められる温湿度環境の基準を十分に満たし、イニシャルコストやランニングコストだけでなく、CO₂削減などカーボンニュートラルの視点を加えること。
- ・池(1)の室内化については、新設屋根の設置に伴う雨水排水ルート、排水音、美観に配慮した計画とすること。
- ・施設利用者に十分配慮したカラーデザインやサイン計画など、ユニバーサルデザインとすること。

本事業の受注候補者特定に係る審査はこれで終了となります。受注候補者は、先に指摘した事項については、豊橋市との協議により実現可能な具体的対応策を示していただきたいと考えます。今後、本事業の実施にあたっては、参画する全ての企業がそれぞれの役割を確実

に果たし、豊橋市との良好なパートナーシップの下、質の高い設計・施工を実現することを期待するものであります。